

2/10

豊かで住みよい宜野湾市の実現に向け
包括連携協力に関する協定締結式



本市と学校法人沖縄国際大学のこれまでの密接な連携の実績をまとめ、多様化する市民ニーズに対応し、地域活性化を図ることを目的に包括連携協力に関する協定締結式が市役所にて行われました。同大学の前津榮健学長は「本協定の包括的な連携により、地域に根ざし地域の発展の力となる多くの人材が育っていくことを願っています。」と挨拶しました。

2/16

きっと会える 人・夢・愛
第28回2020おきなわマラソン



「第28回2020おきなわマラソン」が開催され、県総合運動公園を発着点として総勢12,321人が出場しました。大会当日は、途中雨に見舞われましたが、ランナー・ボランティア・沿道の観客が一体となって大会を盛り上げました。35km地点では宜野湾支部が給水を担当し、特産品の沖縄フロマージュやお稲荷などが提供され、ランナーの皆さんには、ゴールに向けてのエネルギーチャージを行っていました。

2/15

平和学習の場であり、市民の憩いの場を桜でいっぱいに
イオン琉球によるさくら育樹祭並びに「商工会の日」記念植樹式

昨年、公益財団法人イオン環境財団のご協力により、嘉数高台公園に植樹されたさくら千本の手入れなどを行うことを目的に、イオン琉球株式会社(佐方圭二代表取締役社長)主催にてさくら育樹祭が開催されました。当日は、地域の方々や同社の関係者の皆さん約100人が参加し、さくらの木の周辺の雑草取りや苗木の支柱の手入れを行いました。

また、同日の同公園内にて『商工会の日』PR事業として、市商工会によるヒカンザクラの植樹式も行われました。



▲さくら育樹祭

2/12

交通安全ポスターコンクール
警察庁長官賞を受賞



沖縄カトリック小学校の毛呂朱音さん(3年)が市役所を訪れ、2019年度JA共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクールにおいて、警察庁長官賞の受賞を報告しました。また、文化財を題材に描く「私たちの文化財図画作品コンクール」においては、大好きな組踊を題材にした作品で最優秀賞を受賞しており、来年のポスターへの掲載も決まっています。朱音さんは「小さい頃から絵を描くのが好きだったのでとても嬉しいです。」と受賞した喜びを語りました。

2/17

応援した部員、保護者もチーム一丸となって
第21回全国中学選抜卓球大会県予選を報告



真志喜中学校と宜野湾中学校の卓球部の皆さんが市役所を訪れ、全国中学選抜卓球大会県予選において、真志喜中学校が優勝、宜野湾中学校が準優勝という成績を修め、全国大会と九州大会への出場の報告を行いました。真志喜中の当間優奈さん(2年)は「優勝できたのは、みんなで一つの目標を持ち、監督や保護者のサポートがあったからだと思います。」と述べ、宜野湾中の比嘉逢さん(2年)は「九州大会では、真志喜中とお互いに高め合いながら頑張りたいです。」と語りました。



▲「商工会の日」記念植樹式